

やすだじちしんこうかい

安田

自治振興会



恒例のカウントダウン花火

毎年大晦日には、カウントダウン花火をして新年を祝います。出店、笹酒のふるまい、ライブコンサートで楽しみながら、カウントダウンを行い新年の合図と

ともに百数十発の花火を打ち上げます。



新年を祝う 大晦日の花火大会



拠点施設の整備 グラウンドの芝生化

平成 22 年度の宝くじ助成事業を受け安田コミュニティグラウンドの芝生化を行いました。

運動会、盆踊り、グラウンドゴルフなどの様々な行事が楽しく安全に行われます。



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 安田自治振興会（会長：矢田貝光男）
- 〔世帯数・人口〕 127戸・318人
- 〔人口構成〕 15歳以下6.9%、16～64歳48.1%、65歳以上45.0%
- 〔班構成〕 5班（安田下、安田中、安田上、山形前、山形後）
- 〔組織構成〕 総務企画部、農林部、保健・衛生部、体育・文化部
- 〔役員構成〕 会長1人、副会長1人、班長5人、部会長4人、事務局2人

おのじちしんこうかい

小野

自治振興会

農業小学校を通じた地域活性化



この農業小学校は播種と収穫だけとか、収穫体験だけとかのいわゆる「Welcome 中抜き農業体験型」ではなく、種まき草取り収穫という農業のプロセスを学習してもらうタイプであるとここに特色があります。

都市部在住の子ども達と地元在住の子ども達(その保護者等を含む)に生徒として入学してもらい、生徒同士は無論のこと学校の講師となる地元住民との間で、農業実習や食育実習、あるいは座学を通じて交流を図る

ことによりお互いに理解し合える(人と人は無論のこと真の農業をも理解し合える)人的ネットワークを構築し、もって地域の活性化を図ると同時に持続可能な地域の創生を目指します。

これを6年～10年長期継続すれば、将来必ずやこれらの生徒の中から、或いは彼ら(彼女ら)に関係する人脈の中から、更には

地域出身者の中から小野(広くは神石高原町)に係わる(居住者や就農者を含む)人物、はたまた国の中山間地域施策や農業施策に携わる人物が出現し、彼らによってその目的が達成されるものと期待と確信もって取り組んでいます。

ホームページの活用

小野自治振興会では、小野出身者を対象に小野応援団化を推進するため月刊広報誌「小野自治振興会だより」がインターネット上で閲覧可能にするとともに、リアルタイムで小野の情報が全国に発信できるよう小野自



治振興会ホームページを公開(神石高原町の公式ホームページからもリンクしている。)しています。

神石高原町の中でも高齢化率が比較的高く人口も少ない割には、団塊世代の定年帰農も順調に推移し元気さを自負している小野自治振興会ですが、やはり20年後を考えると不安があり、試行錯誤のなかで人的交流を通じて持続可能な集落づくり(活性化)を図ることを指向することとしました。

その手段として、小野在住の豊富な人材(気が付けば小野には医者がないだけ)を利用して農業小学校を立ち上げることを決意しました。

住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 小野自治振興会 (会長：赤木照章)
- 〔世帯数・人口〕 77戸・171人
- 〔人口構成〕 15歳以下5.9%、16～64歳33.9%、65歳以上60.2%
- 〔班構成〕 9班(正原, 中央, 中郷, 隠殿, 後谷, 高田, 南郷, 松尾, 今井)
- 〔組織構成〕 総務部, 福祉部, 地域振興部, 生涯学習部
- 〔役員構成〕 会長1人, 副会長1人, 班長9人, 部会長4人, 事務局2人

げんりゅうのさとしんさか

源流の里

しんさか



「源流の里しんさか」のこの10年の人口減少と高齢化は、町内で2番目に進んでいる地域となっています。

振興会では、急速に進展する過疎高齢化を視野に入れながら、それに対応できるよう、施策の展開を図っており、その一端をここに紹介します。

福祉弁当の配食サービス

この施策は、平成4年に「地域福祉」と「高齢者の食」を考慮し始めたものです。

シルトピア油木で作られた食材を夕食用にパック詰めし、高齢者の方にお届けしているもので、年1回、12月に行っており大変喜ばれております。

そこで来年以降は、自前の加工施設を活用し、希望者の方に経費を負担していただくことで、毎月1回お届けしようと計画しています。回数を増やすことで、配達時に健康管理や安否確

住み続けたいと感じる地域づくりの実現のために

認もでき、高齢者の抱える不安解消に役立つものと思っています。

男の料理教室

この教室は「一人暮らしに直面した時、困らないために」という単純な動機から、平成10年に始めたもので、毎年2月に、10～15人の参加で行っています。出来栄はなかなかのものですが、一人立ちするにはまだ時間がかかりそうです。女性を交えての昼食会は華やかで、皆楽しくやっています。



餅作り

餅作りは、「地域の高齢者の安心な生活をサポートし、地域の振興、活性化を図る」という目的で会員を募り、出資金を出し

合って、平成19年から始めました。四季に合わせての餅の注文は年々増えており、昨年度は発足時の2倍となっていて、順調な運営ができています。高齢化が進む中、年々忙しくなってくるのではと張り切って取り組んでいます。

地域の元気を生産する

この事業は、地域づくりの集大成として、今年度立ち上げたものです。

この事業を思い立ったのは、「この新坂の地に住み続けたい」という住民の強い想いと、この想いを何とかして実現したいという皆のエネルギーでした。

この事業を考える上で「高齢者、女性、地域資源」の3つをキーワードにしました。これを活かせる施設を建設し、小さな産業を創出することで、「住み続けたいと感じる地域、元気のある地域」をつくっていかうと思っています。



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 源流の里しんさか（会長：渡辺和幸）
- 〔世帯数・人口〕 79戸・160人
- 〔人口構成〕 15歳以下3.1%、16～64歳33.1%、65歳以上63.8%
- 〔班構成〕 8班（藤野呂東、藤野呂西、今保田川瀬、政井田、畑、手入、桜尾、下田川瀬）
- 〔組織構成〕 総務部、教養部、生産部、生活部
- 〔役員構成〕 会長1人、副会長1人、班長8人、部会長4人、事務局2人

せんにょうにしじちしんこうかい

仙養西

自治振興会

ふるさと再発見!!



歩行会

毎年8月第1日曜日の夕方、仙養西自治振興会内の約4kmをウォーキングしています。普段見慣れている風景の中に意外で新鮮な発見があります。



災害危険箇所調査

振興会内の危険箇所を調査し、消防団のみなさんと一緒に現地を確認して歩きました。

身近な所に多くの危険箇所があることに驚きました。自主防災活動の第一歩、これからこの調査をどのように活かしていくかが課題です。



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 仙養西自治振興会（会長：大橋崇信）
- 〔世帯数・人口〕 132戸・417人
- 〔人口構成〕 15歳以下11.8%，16～64歳54.2%，65歳以上34.1%
- 〔班構成〕 4班（李，小吹，郷，恩土）
- 〔組織構成〕 総務企画部，福祉部，体育部，地域振興部
- 〔役員構成〕 会長1人，副会長1人，班長4人，部会長4人，事務局2人

せんようひがしちしんこうかい

仙養東

自治振興会



仙養東自治振興会は、旧仙養村づくり区域内の仙養山を中心とした東側に位置し、南は小田川までの約136戸、340人で6班・4部会で組織しています。

主な活動は、東西自治振興会合同で春には「地区民大運動会」、夏には「盆踊り大会」を地域のシンボルである仙養ヶ原で開催し、この他にも「地区敬老会」や新年を迎えての「新年の集い」を開催し地域内の交流を深めています。



高齢化・過疎化の進む中で 地域を考える

上野塾の開校



昨年から地域の人を対象に、旧上野小学校を利用した「上野塾」を開校しています。

この上野塾は、高齢化・過疎化の進む中、地域を考える何かのキッカケになれば・・・ということから開校したもので去年は、「里山の四季を楽しむ」「自然を生かす」と題して、地域の識見を有する人から話を聞かせて頂きました。参加者も「楽しい話を聞かせてもらった。」等と喜んでいただいています。

将来的には、福山近郊の子ども達との交流活動まで発展させたいと思っています。



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 仙養東自治振興会（会長：中西正一）
- 〔世帯数・人口〕 130戸・302人
- 〔人口構成〕 15歳以下4.3%、16～64歳38.4%、65歳以上57.3%
- 〔班構成〕 6班（西道、忠原、花済、山方、上野谷、矢名瀬）
- 〔組織構成〕 総務企画部、福祉部、体育部、地域振興部
- 〔役員構成〕 会長1人、副会長1人、班長6人、部会長4人、事務局2人

まきじちしんこうかい

牧

自治振興会



年間行事

- 5月 区民グラウンドゴルフ大会
(農村公園)
- 7月 美化活動
トーフのプレゼント(お年寄り等)
- 8月 納涼の夕べ(牧ふれあいセンター)
- 10月 区民運動会・自主防災活動
(農村公園)

ふれあいサロン

地域のお年寄りが元気で楽しい日が過ごせるよう、地域の保健委員さんにご協力頂き、毎月1回の目標で「牧ふれあいセンター」でサロンを開催しています。

美化活動

毎年7月、地区住民による町道周辺の美化活動を実施しています。ゴミのポイ捨てを無くす取り組みを実施。ゴミの量も年々減少しています。

健康で笑顔あふれる 住み良い地域をめざして



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 牧自治振興会(会長：秋山軍次)
- 〔世帯数・人口〕 144戸・350人
- 〔人口構成〕 15歳以下6.0%, 16~64歳40.3%, 65歳以上53.7%
- 〔班構成〕 5班(牧郷, 山形, 岩石, 間瀬, 宇賀)
- 〔組織構成〕 コミュニティー部, 地域づくり部
- 〔役員構成〕 会長1人, 副会長2人, 班長5人, 部会長2人, 事務局2人

くさぎじちしんこうかい

草木

自治振興会



環境美化活動

山野の地を放置することにより荒廃し、さびれた地域となることを懸念し、お年寄りと子ども達を中心となり、住民が一体で、公民館や県道沿いに花を植えて安らぎの場を形成しています。

また、住民有志が「景観を守るボランティアの会」を立ち上げ、県道バイパス沿いや公民館周辺に花木を植え、年数回草刈りをして草木の中心地域の美観が保たれています。

自然環境・生活環境を保持し 心豊かな生活を展望します

出会いの場 「つどいの日」の取り組み

人と会い話をする機会の少ない高齢者が毎月1回一堂に会し、手芸、書道教室、健康体操などを開催し、健康食事を作って食べ、楽しく語り合っています。

また、警察官・消防士を招いて、交通安全・生活安全教室を保健委員、民生委員の協力も得て毎年2回開催しています。



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 草木自治振興会（会長：田島義明）
- 〔世帯数・人口〕 156戸・382人
- 〔人口構成〕 15歳以下7.3%、16～64歳44.0%、65歳以上48.7%
- 〔班構成〕 6班（東、中、後、大谷、福樹、草木郷）
- 〔役員構成〕 会長1人、副会長2人、班長6人、事務局2人

ふくながじちしんこうかい

福永

自治振興会

町の玄関口として 地域を活性化



荒廃水田に 花を植え環境を美化

平成21年5月、実行委員10名ほどで、呉ヶ峠入口、県道三原東城線沿いの荒廃水田にひまわりとサルビアを植え、夏には鮮やかに咲き誇りました。

今年6月にはサルビアを畑一面に植えました。今、昨年よりもさらに真っ赤に咲き誇っています。来年は今年よりもっと、もっと鮮やかに。



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 福永自治振興会（会長：鈴木正宏）
- 〔世帯数・人口〕 226戸・542人
- 〔人口構成〕 15歳以下9.4%，16～64歳43.5%，65歳以上47.1%
- 〔班構成〕 11班（滝合，宮地，宮地住宅，神寿苑，下市，上市，殿敷，殿敷住宅，中屋，見後，七曲）
- 〔組織構成〕 ひとづくり部，福祉部，産業部，総務企画部
- 〔役員構成〕 会長1人，副会長1人，班長11人，部会長4人，事務局1人

たんどうじちしんこうかい

田頭

自治振興会



ふれあい広場の整備

平成19年度と20年度にひろしまの森づくり事業を活用し、地域の皆さんと広場周辺の竹林の伐採をし、そのあとに65本の八重桜やソメイヨシノの桜を植えました。併せてグラウンドの整備と防護柵の設置も行いました。

この広場は、旧田頭小学校跡地に皆の力を結集し出来上がったもので、名前も「田頭ふれあい広場」と名付けました。

桜のお花見会、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、秋祭り、とんど等の会場として地域の交流の場として大いに活用しています。

「田頭ふれあい広場」 「耕作放棄地」の整備



耕作放棄地の整備

県道沿いの荒廃地約80アール12枚を平成21年度に地域の皆さんと整備をしました。

4枚の田に水稻を、その他の田に菜の花を植え付け、春には菜の花畑となり、道を通る人々の目を楽しませてくれました。



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 田頭自治振興会（会長：滝口英郎）
- 〔世帯数・人口〕 78戸・208人
- 〔人口構成〕 15歳以下8.7%、16～64歳49.5%、65歳以上41.8%
- 〔班構成〕 2班（田頭迫、田頭郷）
- 〔組織構成〕 産業振興部、環境福祉部、文化教育部、集会所運営部
- 〔役員構成〕 会長1人、副会長1人、班長2人、部会長4人、事務局2人